

# 「安心」を家電選びの新基準に ～JC-STAR普及啓発イベントを開催、 IoT機器のセキュリティ可視化で実現する未来の暮らし～

2026年2月26日、JEITAスマートホーム部会は、IoT製品のセキュリティ適合を示す「JC-STAR」制度の認知向上を目的としたイベントを池袋で開催しました。家電芸人の徳井義実氏らを迎え、安全なスマートライフの重要性を広く発信しました。

## 制度開始から1年、新たなフェーズへ

IoT製品のセキュリティに関する公的な制度である「JC-STAR (IoT製品セキュリティラベリング制度)」★1は、2025年3月に運用が開始されてから1周年の節目を迎えます。ネットワークに接続される家電が急速に普及する中、巧妙化するサイバー攻撃から消費者の暮らしを守るため、製品の安全性を「見える化」する本制度の重要性はかつてないほど高まっています。今回のイベントは、その意義を改めて社会に問う場となりました。

## 制度が目指す「安全の見える化」

JC-STARは、目に見えないIoT製品のセキュリティ対策をラベルで可視化する国の制度です。現在は、メーカーが基準への適合を自ら宣言する「★1」の運用が先行して進んでおり、将来的にはより上位の格付けも視野に入れ

た4段階の評価体系が整えられています。店頭でこのJC-STARのロゴマークを目印にすることで、私たちは専門的な知識がなくても、サイバー攻撃への備えがなされた製品を安心して手に取ることができるようになります。



## スマートホームの変遷

イベントの冒頭、JEITAスマートホーム部会の丹康雄部会長は、日本のスマートホームが長年培ってきた独自の進化と、インターネット接続に伴うセキュリティ課題について言及されました。メーカーと販売店が一体となり、消費者が迷わず「安全な製品」を手にとれる環境を整えることが、持続可能なデジタル社会の基盤になるという確信を共有する機会となりました。



## 「家電芸人」と共に考えるセキュリティ

ゲストには家電への造詣が深いチュートリアルの徳井義実氏が登壇。最新のIoT家電をもたらす利便性を紹介しながらも、目に見えないセキュリティへの不安をユーザー目線で代弁されました。デモンストレーションを通じて「JC-STAR」のロゴマークが、購入時の判断基準としていかに直感的で頼りになるものであるかを、親しみやすい語り口で伝えていただきました。

## 流通現場との強固なパートナーシップ

本イベントは、一般社団法人大手家電流通協会との共催により実現しました。共催者代表の一般社団法人大手家電流通協会 長野毅常任委員からは、店頭での積極的な訴求を推進する力強い言葉をいただきました。製品を作るメーカーと、顧客に直接届ける販売店が手を取り合うことで、JC-STARが単なるマークに留まらず、信頼のブランドとして市場に定着していく道筋が示されたと言えます。

## 多彩な製品が彩る展示会場の様子

報道関係者向けのイベント会場に隣接した家電量販店の特設スペースでは、実際にJC-STARの認証を取得した各社の製品が展示されました。エアコンや洗濯機、Wi-Fiルーターなど、生活に密着した製品が並ぶなか、家電芸人の徳井義実氏、フリーアナウンサーの渡辺真理氏がメーカー担当者から製品の利便性やセキュリティ性について説明を受け、こうした要素が次世代家電にとって重要であることを印象づけました。



## 安全な社会の実現に向けて

現在、JC-STARの適合製品は1,000種類を超え、申請数も着実に増加しています。今後は国内での普及に加え、諸外国との相互承認などグローバルな連携。JC-STAR★2以降の制定が進みます。JEITAはこれからも、会員企業や関係団体と連携して本制度の普及啓発をはかり、誰もが不安なくデジタルの恩恵を享受できる、安全で豊かな暮らしの実現に貢献してまいります。

本件に関する企業関係者からのお問い合わせ先

JEITAスマートホーム部会 事務局（一般社団法人電子情報技術産業協会 市場創生部）  
E-mail: [smarthome@jeita.or.jp](mailto:smarthome@jeita.or.jp)